



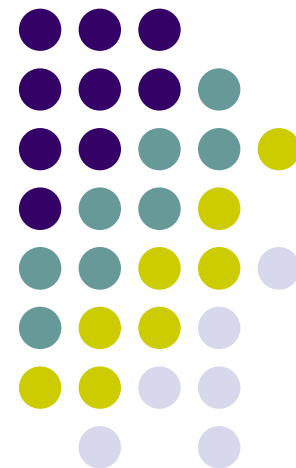
Taipei EC/EDI Committee

中華民國電子商務/資料交換標準委員會

01010

環保工作分組 工作報告

行政院環境保護署
環境監測及資訊處

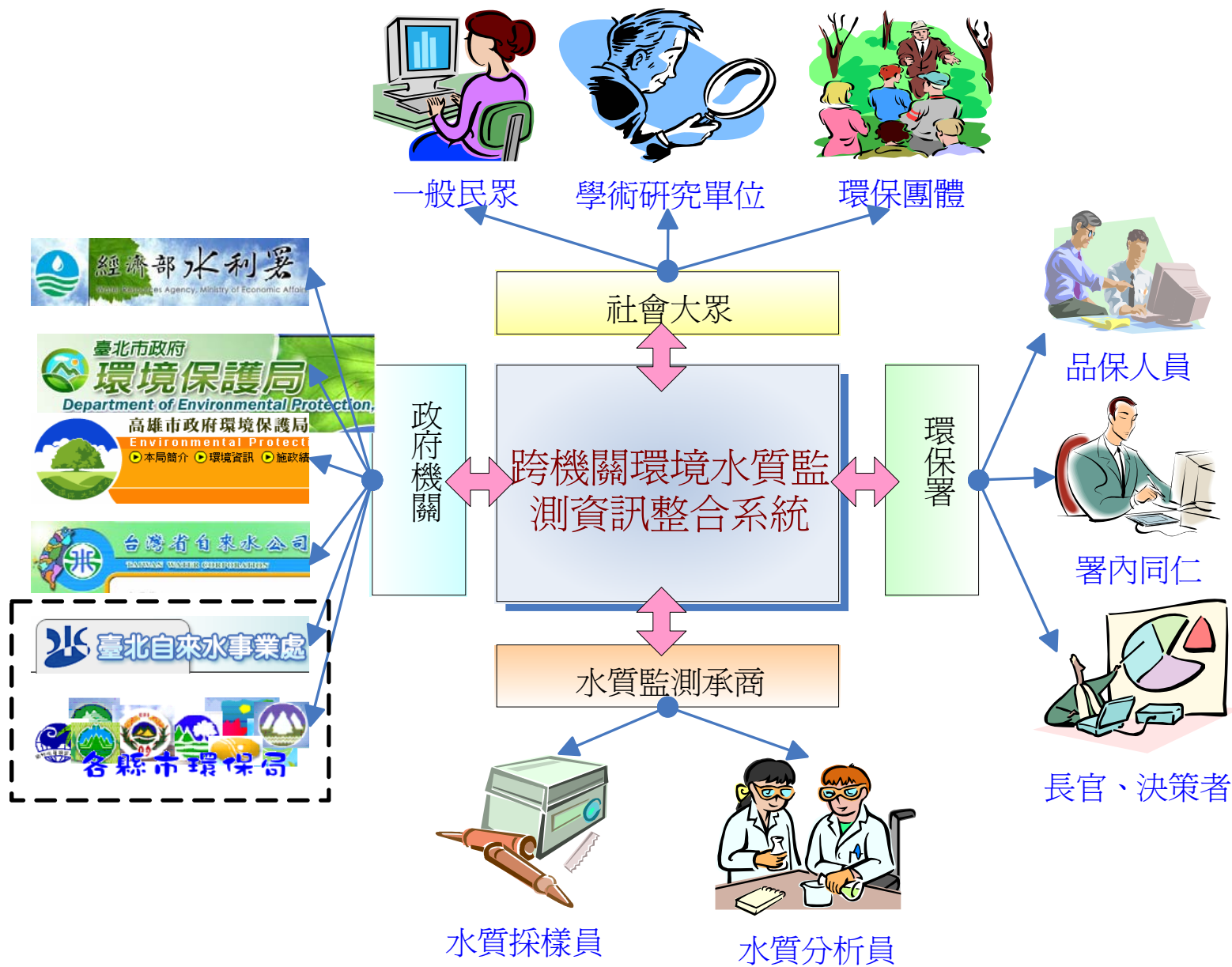


中華民國 96 年 11 月 20 日



96年度工作計畫

- 跨機關環境水體水質監測資訊整合及資料交換標準及作業規範建置（環保署、水利署、自來水公司、縣市環保局）
- 毒化物進口及有害事業廢棄物出口連接貿易便捷網（貿易 e 網通計畫）
- 規劃研訂「環境用語」標準化（結合歐盟 GEMET 計畫及日本環境省之成果）





環境水體水質整合需求 (1/2)

- 不同環境水體？不同監測機關？不同資料格式？不同單位表示？
- 需要一致性（語意、語法）的資料交換標準及相關配套行政程序
- XML Schema 整合及 Web Services 的資料交換與分享模式

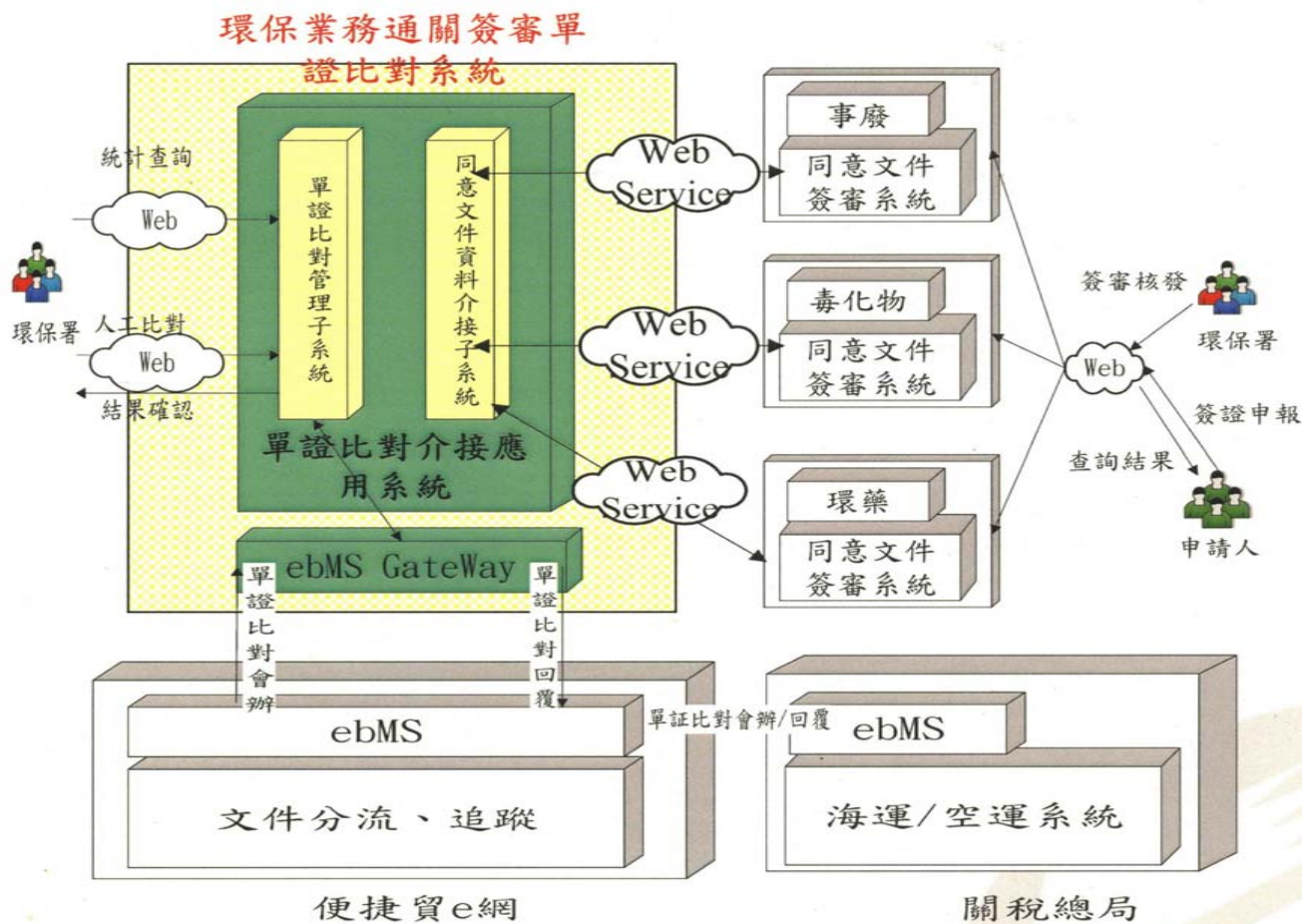


環境水體水質整合需求 (2/2)

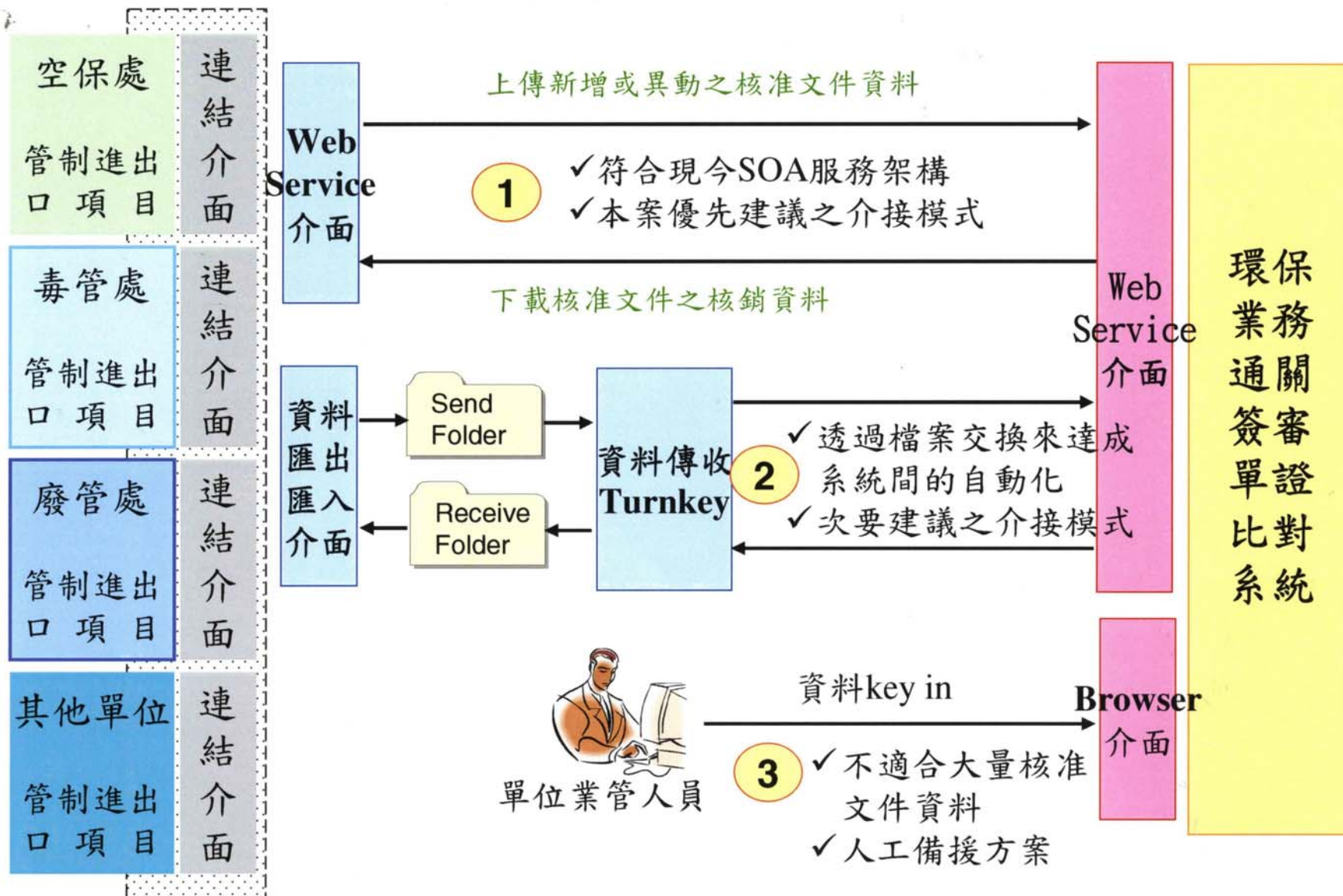
- 96 年度工作重點：
 - 制定 XML 格式標準作及業規範
 - 本年度預計 10 個縣市環保局及省自來水公司參與本計畫試辦作業
 - 進一步制定 Web Services 相關標準
 - 英譯計畫成果，研提 UN/CEFACT TBG 13 環保工作組或 TBG 21 電子化政府工作組

環境控制物質進出口

系統架構



本署內部系統整合方案



同意文件許可資料統計

業務單位	許可同意文件	件數(年)
事業廢棄物	輸出入許可文件	554
毒性化學物質	不列管證明函	<30
	毒化物運送聯單	15,000
環境用藥	製造許可證	652
	輸入許可證	255
	不列管證明函	319
	原料進口證明書	2

一年約
16,800
件



環境詞語 標準化

- 環境用語異質性及歧義性（ambiguous）
- GEMET (General Multilingual Environmental Thesaurus) -- 歐盟環境總署發展
目前有 5000 餘詞彙，譯有21 種語言版本，惟多屬歐語系國家使用
- 日本環境省「環境詞語檢索」系統
- 目前華語系統，尚未有類似計畫

EICネット：環境情報案内・交流サイト - Microsoft Internet Explorer

アドレス http://www.eic.or.jp/

環境用語検索

環境用語検索

手がかりに、関連情報を検索できます。

検索

ワンポイントエコライフ

お風呂が1万円！
捨てるお金が1万円！
この数値の意味は？(解説ページへ)

エコライフガイドへ

おすすめライブラリ

作成日 | 2003.09.12 更新日 | 2007.05.11

POP's条約

ポップスジョウヤク 【英】Stockholm convention on Persistent Organic Pollutants 【同義】ストックホルム条約 残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 残留性有機汚染物質規制条約

解説 |

正式名称は、残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約という。2001年5月採択、2004年5月に50カ国以上の批准を受けて発効した。日本は2002年に加盟している。

残留性有機汚染物質(POPs)とは、環境中で分解されにくく、生物に蓄積されやすく、かつ毒性が強いといった性質をもった化学物質の総称。

条約はPCB、DDTなどのPOPs(12物質)について製造・使用・輸出入の禁止と廃棄のほか、ごみ焼却などで発生するダイオキシン類の排出削減などを定めている。1992年に開かれた国連環境開発会議(UNCED)でPOPsの規制の重要性が指摘されたことを受け、2001年5月に採択された。2006年3月現在、151ヶ国及び欧州共同体(EC)が署名、日本を含む118カ国(G8では加、独、仏、英)及びECが締結している。

今後、新たなPOPsを生み出さない努力とこれまでに製造・使用されてきたPOPs、とりわけPCBや埋設された農薬類の適正処理を進めていくことが求められている。

環境用語の分野 |

健康・化学物質 > 健康・化学物質

関連Webサイト |

残留性有機汚染物質(POPs)規制条約(外務省)
http://www.mofa.go.jp/mofai/affairs/loop/loop/pop.html

環境用語検索

環境用語(約3000語)を手がかりに、関連情報を検索できます。

検索

この解説に含まれる用語

- 適正処理
- 残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約
- 残留性有機汚染物質
- 国連環境開発会議
- ダイオキシン類
- PCB
- DDT

「POP's条約」の関連情報を検索

- 国内ニュース
- 海外ニュース
- イベント情報
- 環境Q&A
- 機関情報
- 環境年表

検索

「POP's条約」の関連用語を表示



↑クリック！



96年度工作成果及檢討

- 發行「跨機關水質監測資料交換作業規範」，將要求各級環保機關循此標準進行水質監測資料交換，另對於農委會、水利署等機關將採取「加盟」方式，以擴大參與機關。惟因各機關產生之監測資料規模及水準不一，未來資料交換標準之落實，尚需更有效之配套措施。
- 環境管制物質參與貿易 e 網通計畫，目前正進行系統測試，可望 96 年底完成與通關貿e網之連線，惟參與之項目及數量尚有待拓展
- 國內環境事務之權責機構紛雜，對環境用詞之共識凝聚及標準研訂有待積極推展，相關進度較難掌握，且台日環境合作計畫96年度未能列入，故未有相關執行進度，待 97年度再積極辦理。
- 2007年二次 UN/CEFACT Forum 因受限於出國經費及TBG 13 環保工作組未舉行會議限制，本署未能派員參加。未來將與美國環保署等商議，聯合 TBG 19 電子化政府工作組，以擴展工作成果。

97 年度電子資料交換標準 相關預定工作計畫



- 建置環境品質資料倉儲，針對資訊源匯入倉儲之 **source data**，制定以 **XML** 為基礎之交換標準
- 擴大推廣水質監測資料交換標準及分享
- 尋求台日合作計畫，導入日本國立環境研究所發展之「環境詞彙系統」並建立我國環境用語標準